

栗原市 × よしもと

宮城県栗原市移住定住ガイドブック

ペナルティ・ワッキーを  
あかりちゃんがガイド!



# ゆりはら田舎暮らし





目次

栗原市の概要／気候について	2
アクセス／スタンプラリー	4
稲作／豆知識	6
くりはらツーリズム／長屋門／若柳地織	8
もち文化／おやつ	10
一五〇年前のレシピ／神まつり／山車まつり	12
移住までのステップ	14
支援制度	16
就農フローチャート	18
農業シミュレーション	20
移住者インタビュー	24
くりでん／クリハライザー／細倉メインパーク	25
ドリームアンバサダー	26
編集後記	27



ワッキーさんが浸かっているのは金成温泉「金成延年閣」の露天風呂。晴れた日は、くっきりと栗駒山を眺めることができます。

宮城県の内陸北部に位置する栗原市。

面積の8割が森林や田畑という  
緑豊かな田園のまちです。

岩手県と秋田県にまたがる  
標高約1626メートルの栗駒山を背景に、  
豊かな農耕文化が育まれてきました。

10町村が合併して栗原市になりましたが、  
今もそれぞれの地域に独自の食文化が受け継がれ、  
おいしいお米やごちそうのバリエーションが豊富です。

実は仙台まで新幹線で25分で  
通勤や通学もできる距離。

高速道路を使えば車でもすぐですよ。

このガイドブックでは、  
栗原市が誇るたくさんさんの魅力を丁寧に見つけ直し、  
伝え広めていきたいと考えています。

また、栗原市に住む私たち自身も、  
この本を通じてまちの魅力を再発見し、  
栗原市を知らない方にわがまちを  
伝えていくための力にしていきたいです。

この本を手にとって、少しでも

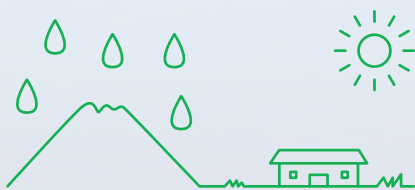
「栗原市を訪れてみたい」

「私もここで暮らしてみたい」

そう思ってもらえたらうれしいです。

## ■ 気候について

一般的に内陸型気候で、年間平均気温は平野部で11.08度、山間部では8.31度と、年間を通して2〜3度程度の差があり、降水量は、平野部で年間105.83mmで、山間部で年間203.71mmと平野の2倍近くとなっています。冬場の降雪量に大きな差があり、栗駒山に近い北西部は雪が多く、大崎平野に連なる南東部では雪が少なく温暖です。  
(気象庁ホームページより平成26年調べ)



栗駒山の駒姿とは、田植えの時期の到来を告げる駒の形をした雪形のこと。昔から栗駒山を水源とする豊かな清流が、栗原で暮らす人々の生活に繁栄をもたらしてきました。

# くりはらへの アクセス

栗原市は宮城県の北部、宮城県と岩手県の県境に位置しています。栗駒山を含む栗駒山地は栗駒国立公園に指定され、紅葉シーズンは多くの登山客でにぎわいます。ぜひ観光地だけでなく、普段の栗原を体感してみてください。

さあ、  
行こう！



2005年4月1日、築館町、若柳町、栗駒町、高清水町、一迫町、瀬峰町、鶯沢町、金成町、志波姫町、花山村の栗原郡10町村が合併し栗原市が誕生しました。



**地域物産展示販売施設  
あやめの里**  
〒987-2308  
栗原市一迫真坂字清水田川4-1  
電話：0228-57-6151



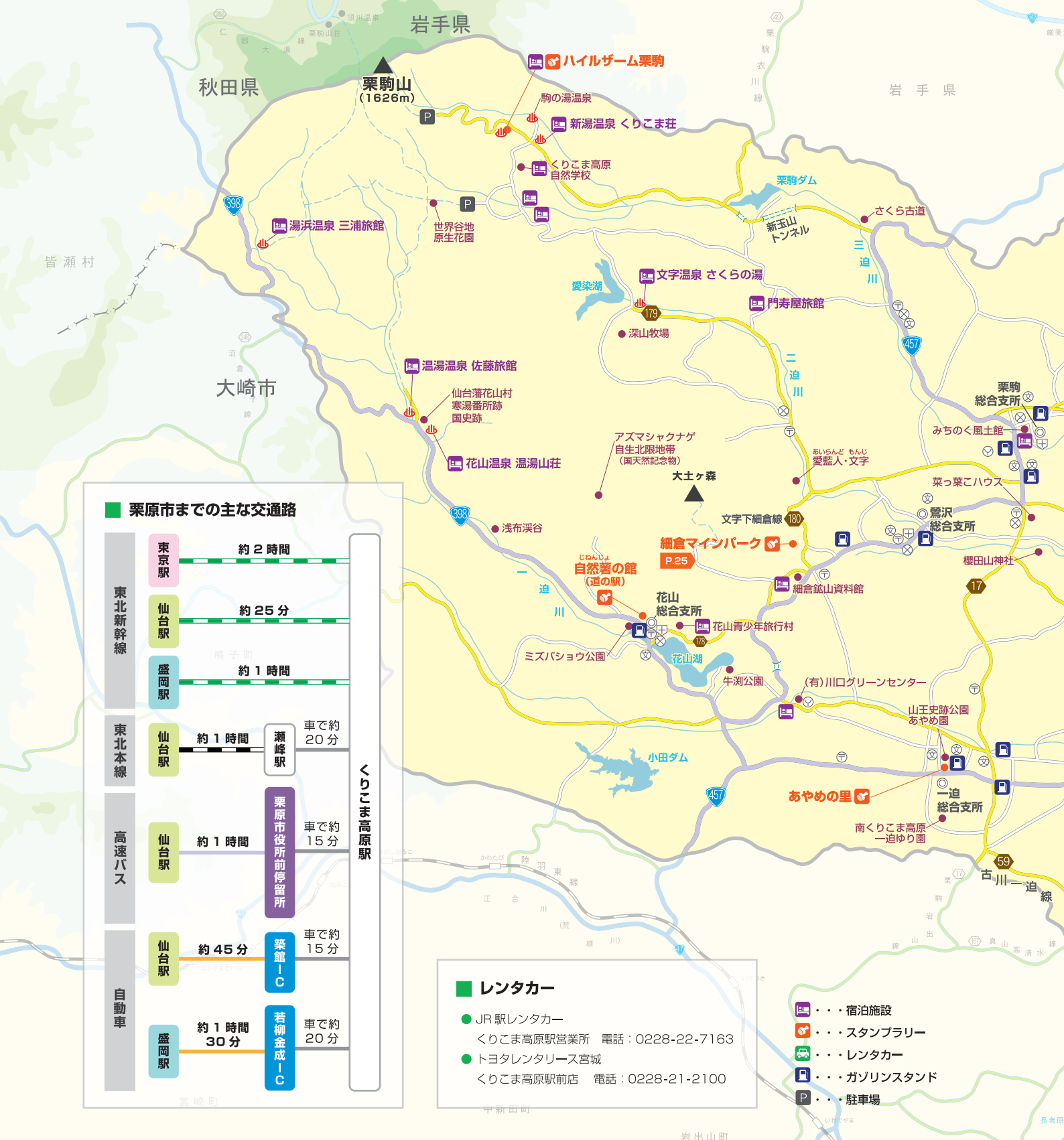
**細倉マイナパーク**  
〒989-5402  
栗原市鶯沢南郷柳沢2-3  
電話：0228-55-3215



**栗原市観光物産協会**  
〒989-5612  
栗原市志波姫新熊谷284-3  
JRくりこま高原駅内  
電話：0228-25-4166

## スタンプラリー

**栗原市内の名所に出かけよう！**  
対象施設をめぐってスタンプを押せば、その場でオリジナル缶バッジがもらえます。プレゼント応募はスタンプ1個から。集まったスタンプを持って、栗原市観光物産協会にある応募用紙に記入すればOK。7つ揃くと抽選で豪華賞品がもらえます！



**栗原市までの主な交通路**

東北新幹線	東京駅	約 2 時間	
	仙台駅	約 25 分	
	盛岡駅	約 1 時間	
東北本線	仙台駅	約 1 時間	瀨峰駅 車で約 20 分
	盛岡駅		栗原市役所前停留所 車で約 15 分
高速バス	仙台駅	約 1 時間	
	盛岡駅		
自動車	仙台駅	約 45 分	築館 I-C 車で約 15 分
	盛岡駅	約 1 時間 30 分	若柳金成 I-C 車で約 20 分

**レンタカー**

- JR 駅レンタカー  
くりこま高原駅営業所 電話：0228-22-7163
- トヨタレンタリース宮城  
くりこま高原駅前店 電話：0228-21-2100

- 宿泊施設
- スタンプラリー
- レンタカー
- ガソリンスタンド
- 駐車場



**ハイルゲーム栗駒**

〒989-5371  
栗原市栗駒沼倉耕英東 50-1  
電話：0228-43-4100



**金成温泉延年閣**

〒989-5122  
栗原市金成三沢 32  
電話：0228-42-1121



**道の駅 路田はなやま 自然薯の館**

〒987-2511  
栗原市花山字本沢北ノ前 112-1  
電話：0228-56-2265



**わかやなぎ農産物直売所 くりでん**

〒989-5501  
栗原市若柳字川北塚ノ根 17-24  
電話：0228-32-7707

# くりはらを知る



もち米 (みやこがねもち)



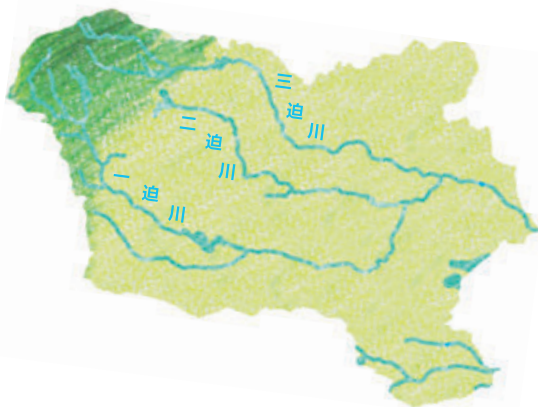
うるち米 (ササニシキ)

## 400年以上、米どころ

かつてこの地を治めた仙台藩の頃から主な産物は米でした。栗原市内を流れる一迫川、二迫川、三迫川沿いには田園が広がり、迫川水系のおかげで若柳のまちに米が集積されて、石巻に運ばれ、その石巻から江戸や大坂に運ばれていたそうです。帰りの舟には刺身や石が運ばれていたとか。この時代から刺身を食べていたとかちよつと信じられない話です。伊達政宗が開始した新田開発から400年、宮城のお米はササニシキ、ひとめぼれという人気ブランドで、全国の食卓を賑わせています。

## お米がおいしい理由

栗原の米づくりは、栗駒山の雪どけ水を利用し、有機質の高い土壌にも恵まれているため、安全でよりおいしいお米ができあがります。農業をしながら若柳地区で農家民宿「たかまつた」を営む千葉さんは「うちではひとめぼれとつや姫、萌えみの



り、ササニシキ、そして、みやこがねもちをつくっていますよ」と語ります。かつてササニシキは多くの水田で作付けされていたが、1993年の大冷害をきっかけに、耐冷性に勝るひとめぼれが主力品種になったとか。たかまつたでは体験講座も用意していて、5月に田植えを行い、9〜10月に稲刈りを体験できます。



栗原市マスコットキャラクター「ねじり ほんによ」

## くりはら豆知識

### くりはら方言講座

これを読めば、あなたも栗原通です。

#### ～らいん

意味：～してください。何かを呼びかける際に親しみをもって～らいんと言います。

例：「餅でも食べらいん」「いただきます」他に「上がらいん」「入らいん」など

#### まで

意味：丁寧。

例：「ずいぶんまでだっちゃね。」「そいなことねから」「まで」最高の褒め言葉です。

#### いずい

意味：ちょっとした違和感。しっくりこない感じ。気まずい状況などを表現します。

例：「目にゴミが入っていずい」

#### んだから

意味：同意を表す。相槌。

例：「空き家増えだっちゃね」「んだから」

# 稲作



## ねじりほんによとは？

秋の栗原市内では、刈り取った稲を棒掛けて乾燥させている「ほんによ」の姿が見られます。地域や人によっては、「ほんによ」や「ほによ」と呼ぶこともあります。

上の写真のほんによは、稲の束を少しずつずらして棒に掛けていて、ねじれているように見える「ねじりほんによ」です。市内では、栗駒地区や一迫地区、金成地区の一部での光景を見ることができます。

栗原市マスコットキャラクター「ねじりほんによ」は、米どころ栗原の残していきたい象徴として、ほんによをキャラクター化したものです。



## 栗原の地酒

お米同様、栗駒山系水源を利用し、自慢のお酒が数多く揃っています。



知っていると  
きっと役に立つよ！

## 農業の特徴マップ



古くから稲作中心とした農業が営まれていますが、ばれいしょ、大豆、大根、きゅうりなどの野菜や、りんごなどの果実の収穫量も増えてきています。  
(農林水産省のデータより抜粋)

# ネットくりはら ネットワズム



体験者が増えれば、暮らしはもっと面白くなる。

くりはらツーリズムネットワークは地域資源を活用した体験プログラムを主体に、研修や企業の視察の受け入れ、民泊、旅行会社のツアーのお手伝い、地元産品の販売などの事業に取り組んでいます。

昨年は体験交流プログラムを130回ほど開催しました。「団体の会員さんが先生となり、会員さんのご自宅や公共施設の実習室をつかって、料理教室などを開催しています」と語るのは、事務局長の大場寿樹さん。

昨年は2181人の方が参加されたという。そのうちの約7割は栗原市内の方だ。「10町村が合併して誕生したまちですが、生活圏は狭く、意外と隣の町の文化を知らなかつたりするんですよ」。栗原市近隣の登米市、大崎市、仙

## 主な活動

### 体験交流プログラム

陶芸教室、トレッキング、そば打ち体験、温泉バスツアーなど盛りだくさん。

### くりはら博覧会“らいん”

一定期間内に栗原市内の各地を会場にして複数の体験交流プログラムを実施するイベント。

### くりはら復古創新プロジェクト

相次ぐ震災で破損した長屋門などをワークショップで修復しながら、昔ながらの業を学び合う。

### 藍の手プロジェクト

正藍冷染は農家の女性が自給するための民の文化。正藍冷染の制作プロセスの一部を体験しながら藍染と地域を学ぶ。

### 栗原手づくり市「十文字商店」

栗原に息づく「まで」(丁寧)な暮らしの魅力を販売という方法で伝えるイベント型のお店。



台市からもリピーターが多く参加されているとか。「家の中だけでやっていることを、くるっと外にむけると暮らしがすごく面白くなるんです。僕らの世代は勤めに出ないと生きていけないだったので、身体を使う仕事で継承されていない。無形の文化に光をうまくあてることで、充実した暮らしを営んでいければと思います」。

## 長屋門



栗原市内に500軒以上存在する「長屋門」。

暮らしの中に当たり前のよう存在する長屋門。他の地域ではなかなか目にするのができない貴重な地域資源です。

長屋門は諸大名の武家屋敷門として発生した門形式で、江戸時代に多く建てられました。諸大名は、自分の屋敷の周囲に、家臣などのための長屋を建て住まわせていたが、その一部に門を開いて、一棟とした物が長屋門の始まりです。門の両側に門番や仲間部屋が置かれて、家臣や使用人の住まいに利用されていました。



# 若柳地織



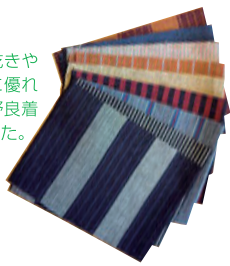
農作業で使われていた野良着が時代にあわせて大変身。

若柳地織は1900年代から旧若柳町を中心として製造された綿織物。13軒あった同業者は次々と廃業し、とうとう千葉孝機業場の1軒となった。

千葉孝機業場の作業場には、初代が大正時代に購入した豊田式鉄製小幅動織機Y式(トヨタ自動車の創業者が開発した機械)が今もなお活躍している。三代目の千葉孝順さんにお話をお聞きした。

「もともとこの製品は、農作業で使われる野良着として広く利用されてきたものなんです。飛ぶように売れた時代がありました。化学繊維の登場で一気に売り上げが落ちました。」

卸が主流だった時代、千葉さんは直接販売することに活路を見出



通気性が良い上に乾きやすく、冬場は保温に優れ暖かいため、広く野良着として重宝されていた。

した。現在は時代にあわせ、「実用的民芸品」と名づけてメガネケースや名刺入れ、巾着、ネクタイなどをつくるようになった。そのきっかけをつくったのは、仙台の百貨店にきた3人組のお客様だった。

「商品を見て女性のお客様に『野良着でオシャレって(笑)』と笑われまして。頭にきましたね。でも帰りの電車の中で、どうやったら売れるのかを考えて、整理することができたんです。」

現在は各地の百貨店や海外にまで若柳地織の魅力を伝え、お客様がほしいものをお聞きするようにしている。メイドイン栗原は現在進行形で生まれているようだ。



着ごちがとっても良いよ!



明治時代以降の仙台藩による支配がなくなった後、農作物や農具を収納する物置や作業小屋としての実用的な機能と、裕福な農家である象徴として栗原にも多くつくられました。そのため栗原市内の長屋門は市内を流れる一迫川、二迫川、三迫川沿いの農業に適した場所に500軒以上残っています。

建造当初の長屋門は、茅葺き屋根・土壁の門がほとんどでした。しかし、戦後になると多くの家では、屋根は瓦や金属板に葺き替え、壁は漆喰で塗り直したと言われています。門の中では脱穀や精米、養蚕が行われていましたが、農業機械が導入されたことで、門内での農作業は減りました。

現在は、主に物置や作業小屋として使われていますが、壊すと文化までなくなってしまうという考え方が生まれているようで、中には改築を施し、カフェやギャラリー、事務所として利用されている長屋門もあります。



長屋門カフェ



# もち文化



紅白で見た目に美しい「えび餅」



麦芽あめにきな粉をまぶして食べる「あめ餅」



独特な香りと素朴な味の「納豆餅」



さっぱりとした味わいの「生姜餅」



エゴマの濃厚な味とざらつく食感が特徴の「じゅうねん餅」



緑色が鮮やかな「ずんだ餅」

餅料理は50種類以上もあるといわれ、お正月ともなると、一度に数種類の餅料理が食卓へ並びます。昭和30年ころの調査では年に70回も食べるころがあったとか。

餅は年中行事や冠婚葬祭、農作業の始めや終わり、お客様へのもてなしなど「ハレの日」に食べられてきました。江戸時代、

伊達藩が余剰米も買い上げるといふ厳しい暮らしの中で、農村の人々の知恵と工夫から生まれた文化です。神様へのお供え餅として使われ、粗末にするとかちが当たるからと、お下がりの餅を食べました。さらに家庭の祝い事や仏事などを「だし」にしては餅を食べ、厳しい労働の中の楽しみとしていたのです。

## 餅のつくり方

- 1 餅米を研ぎ、たっぷりの水に8〜10時間浸す。
- 2 お手入れのために杵を水に浸し、白に水を張る。
- 3 餅米を蒸し器へ。湯気があがって30分程度蒸す。
- 4 臼に入れて杵をひねりながら臼の周りを回るようにしてこねる。
- 5 米粒がなくなり餅の表面にてかりが出るまでつくへし！

# おやつ



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



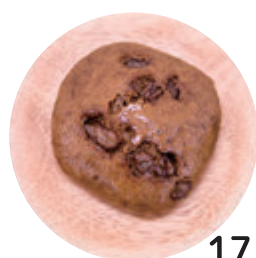
14



15



16



17



18



19

田植え作業の合間の手を休める休憩時間に、おやつを食べる風習がありました。甘いものが少なかった時代、ミョウガの葉焼きは子どものおやつとして重宝されました。小麦粉と黒砂糖、味噌をよく練り水を加えてミョウガの葉にのばして二つ折りにして焼いたものです。

ほかに郷土土産で有名なしんこもちは、宮城県産ひとめぼれ入りのうるち米粉100%で、朝づくりしている素朴な餅菓子です。朝とは午前4時のことから、もちっ小屋でん社長の狩野さん曰く、始発の新幹線で仙台や東京に向かうサラリーマンがお土産用を買っていくのだとか。ほかにも新旧栗原を彩る、おやつコレクションをご覧ください。

1. 蜂蜜 / 2. 鶴ヶ飴 / 3. 揚げだんご / 4. 寸・ZUN(すんだ淡餅) / 5. すんだあんしんこもち / 6. 上から時計まわりに林檎、すんだ、いちご、ブルーベリーの生ジャム / 7. れんこんかりんとろ / 8. しそ巻き / 9. ブルーベリーの実 / 10. 薄皮つぶまんじゅう / 11. 焼きもち / 12. カフェ・オー・レ大福 / 13. げんこつパン(栗原いちごジャム) / 14. 米めん / 15. 白鳥ミルフィー / 16. 漢方牛のキーマカレードーナツ / 17. がんづき / 18. みよがの葉焼き / 19. 大判の油揚げ

# 栗原に伝わる 一五〇年前の料理書をもとに 現代風にアレンジ

ここに一冊の本、大秘方萬料理方全（だいはひかたよろずりようりかたぜん）があります。「農家民宿と心の料理 有賀の里たかまつた」に代々伝わる、地元の食材の料理法を著した料理本

です。なんと、つくられたのは安政4年（1857年）のこと。この150年前の料理書を現代語に訳し、さらに現代風にアレンジしてレシピ化し、料理を再現するという動きがあります。それが「150年前の栗原の食復活プロジェクト」。

例えば大秘方萬料理方全その93番を紐解くと「木瓜もミ漬の事」とあります。これはきゅうりもみのこと。きゅうりは若くて小ぶりのを厚めに切って、歯こたえあるよう仕上げるのが150年前風のようにです。

ほかに「南蛮漬の法」、「落雁（らくがんの事）などの昔のレシピをもとに、新しい食文化をつくり、栗原の歴史や文化の再認識につなげられています。



## 宮城の神まつり

宮城県の家庭では、お神札と合わせて「お正月様」と呼ばれる独特な御神像をおまつりし、その一年お守りいただく風習が行われています。大年神、五穀豊穡（宇迦御魂神）、大國主神、事代主神、奥津彦神・奥津姫神（龍神）の五柱からなるこの御神像は、先の四神は神棚の前あるいは後ろに貼っておまつりし、龍神様は台所など火を扱う場所におまつりします。お正月様は他県に見られない貴重な伝統であり、大切に守り伝えられています。



**奥津彦神**（おくつひこのかみ）  
**奥津姫神**（おくつひめのかみ）（龍神）  
火の恩恵をいただきながらその災いを避け、家庭と台所を護ってくださる神様。



**事代主神**（ことしるぬしのかみ）  
大國主神の御子神様。「恵比寿さま」とも呼ばれ、神話では魚釣りや船乗りとして記されているため、漁業、海運の神様として崇められる。



**大國主神**（おおくにぬしのかみ）  
「大黒さま」とも呼ばれ福の神として親しまれている。郷土の発展と健康の増進をつかさどり、災いを退け、人々の結びつきを取り持って下さる神様。

奉齋産土神太禰串

### お神札

まつられる順番は各地域、各家庭の古い習慣により違っていても問題なし。



**大年神**（おおとしのかみ）  
新しい年をお授けになる歳神様。お正月様の中心とされる神様でもある。



**五穀豊穡**（宇迦御魂神）（うかのみたまのかみ）  
人々が生きていく上に欠かせない衣食住をお護りいただく神様。生活の安泰と家屋敷の無事をつかさどられる。

## 三〇〇余年もの歴史と伝統を誇る 栗駒地区最大のお祭り

# 「くりこま山車まつり」

くりこま山車祭りは、元禄時代、中村日向成義が岩ヶ崎鶴丸城主の頃行われていた五穀豊穡を祈願する「新田の大早苗振り」が現在に伝わるもので、300余年もの歴史と伝統を誇る栗駒地区最大のお祭りです。

当時は「飾り山」として固定したもので、後に人々の肩にかつがれた

「かつぎ山」と称され、近代になって車に飾られ地区内を練り歩く豪華な山車まつりになりました。お囃子は当時から伝わる独特のもので、9台の山車が町内を練り歩く祭りは、宵祭・本祭の2日間にわたり、神輿・郷土芸能・YOSAKOI演舞なども行われます。

栗駒地区の中央部に位置する自治会、八日町躍進会の総顧問、佐藤久義さんにお話をお聞きしました。

「わたしが子どもの頃はくりこま山車まつりは6月に開催していました。それから栗駒山が1968年に国定公園になったのを機に、夏の登山客の多い時期にあわせて7月の最終土・日曜日に開催することになったのです。この時期、2万人以上の観光客が訪れています」。

佐藤さん曰く、山車は毎年9つの地区が競い合ってつくっており、祭りの時期が近づくと毎週日曜日に制

作しているそうです。「毎年かたちが違います。全部手づくりで、この虎なんかは首が動くんですよ」。

実は動くのは八日町躍進会だけでその技をもっているのは佐藤さんなんだそう。15〜20名ぐらいでつくりまわす。近年は歴史や物語の一部が再現されることが多くなり、なかでも源義経の胴体が葬られたとされる墓が栗駒小学校の近くにあるため、義経伝説がテーマになることが多いのだそうです。一見の価値ありですね。



### <DATA>

問 合 せ : <くりこま山車まつり実行委員会(栗原市栗駒総合支所市民サービス課内) 電話 :0228-45-2114</p>
 <p>日 時 : 毎年7月の最終土曜日と日曜日</p>
 <p>(土曜日)午後2時15分から9時、(日曜日)午前9時30分から午後5時</p>
 <p>主なイベント:(土曜日)宵祭 おはやし鷗演会、鳥舞、夜間山車巡行、神輿大乱舞</p>
 <p>(日曜日)本祭 栗原よさこい祭り、表彰式(おはやし、山車製作)、おはやし一斉演奏、山車巡行</p>
 <p>場 所 : 栗駒岩ヶ崎地区(宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎)</p>
 <p>・JR石越駅からバスで30分「栗駒」バス停から徒歩すぐ</p>
 <p>・東北道若柳金成ICから車で15分</p>
 <p>料 金 : 無料</p>
 </div>
 <div data-bbox="658 827 744 840" data-label="Caption">
 <p>YOSAKOI 演舞</p>
 </div>
 <div data-bbox="660 842 933 1000" data-label="Image">
 <img alt="A group of people in traditional red and white costumes performing a Yosakoi dance.">
 </div>
 <div data-bbox="53 965 73 978" data-label="Page-Footer">
 <p>13</p>
 </div>

# くりはらの暮らし

## 移住までのステップ



START

### ステップ①

## 移住の目的を決める。

「自然の中で暮らしたい」「米をつくりたい」「農家民宿がやりたい」など、何のために移住するのかを再確認し、家族やパートナーの了解を得ましょう。

### ステップ②

## 情報を集める、相談する。

栗原市への移住に役立つ情報サイト「来てみらいん! くらしたい栗原へ」を閲覧してみよう。わからないことがあれば遠慮なく、サイトを運営する栗原市役所の成長戦略室に連絡をとってみよう。

また、「ふるさと回帰支援センター」や「ニッポン移住・交流ナビJOIN」が開催する移住者向けの相談会に足を運ぶのもオススメです。フェイスブック上にはグ

ループページ「宮城県栗原市の移住者」と彼らを支えるネットワーク」がある。こちらで実際に移住された方や栗原市にお住まいの方から生の声を聞いてみるのも良いですね。

そのほか、住んでみたい地域の情報など情報収集をしてみよう。教育関係の相談は、栗原市教育研究センターがオススメです。

### <関連情報>

- 来てみらいん! くらしたい栗原へ  
<http://www.kurihara-tju.jp/>
- 栗原市役所 企画部成長戦略室  
電話：0228-22-1125 (直通)  
E-Mail: teijyusokushin@kuriharacity.jp
- ふるさと回帰支援センター  
電話：03-6273-4401  
<http://www.furusatokaiki.net/>
- ニッポン移住・交流ナビ JOIN  
電話：03-3510-6581  
<http://www.iju-join.jp/>
- 宮城県栗原市の移住者と彼らを支えるネットワーク  
<https://www.facebook.com/groups/kuriharacity/>
- 栗原市教育研究センター  
電話：0228-42-1157  
<http://www.kuriharacity.jp/index.cfm/10.26169.39.348.html>



### ステップ③

## 下見に行く。

収集した情報をもとに現地に行って確認してみよう。

くりこま高原駅にある、JR駅レンタカーなどを利用して、土地の雰囲気をつかんでみよう。

特に農業を考えている方には、下見の段階で暮らし体験のできる農家民宿「有賀の里たかまつた」や「ファームインかわせみ」に宿泊することをオススメします。

例えばたかまつたのご主人

### <レンタカー>

- トヨタレンタカー くりこま高原駅前店  
電話：0228-21-2100 営業時間：8:00~20:00
- JR 駅レンタカー くりこま高原駅営業所  
電話：0228-22-7163 営業時間：8:00~19:00

### <農家民宿>

- 農家民宿と心の料理 有賀の里たかまつた  
栗原市若柳有賀字峯6 電話：0228-32-5857
- ファームインかわせみ  
栗原市金成上富田8 電話：0228-42-2194

### <体験プログラム>

- くりはらツーリズムネットワーク  
電話：0228-24-8588  
<https://www.facebook.com/kuriharatourism>

は米を栽培されているので、栽培したい品種に適した農地の話などアドバイスしてもらえませんか。

普通に観光してみるのもアリですが、タイミングがあれば「くりはらツーリズムネットワーク」が企画する体験プログラムに参加してみるのもオススメです。

栗原市の文化や魅力を体験できるだけでなく、栗原市在住の方と知り合うチャンスがあります。





<関連情報>

- **ハローワーク築館** (築館公共職業安定所)  
栗原市築館薬師 2-2-1 築館合同庁舎  
電話：0228-22-2531 ファクス：0228-22-6892  
<http://www.kuriharacity.jp/index.cfm/10.1351.53.159.html>
- **みやぎ移住サポートセンター**  
電話：03-6734-1344 (東京サポートセンター)  
電話：022-216-5001 (仙台サポートセンター)  
<https://miyagi-ijuguide.jp/>

ステップ④

# 仕事をさがす。

移住前に仕事を決めておきたいものです。**ハローワーク築館**のウェブサイトで毎週木曜日に最新の求人情報が掲載されます。  
ほかにも**みやぎ移住ガイド**のウェブサイトにユーザー登録しておく情報が届くので便利です。

ステップ⑤

# 住まいを探す。

冬の栗原市は首都圏と比較して寒さが厳しい地域です。一度賃貸で暮らしてみたら改めて住居を購入するあるいは賃貸してみるのもいいでしょう。

地震などの自然災害も考慮して、**栗原市ハザードマップ**も参考にしたいです。

定住を決めている方は「来てみらいん！くらしたい栗原へ」の住まいのページから、**定住促進事業**「若者定住促進助成事業」「新婚生活応援家賃助成事業」「定住促進住宅」をチェックしてみてください。要約すると、移住を決めている方は栗原市がいろいろサポートしますよ、という制度です。

**ムサーチ事業 空き家物件一覧**を見てみると、賃貸物件、売却物件などが並んでいます。「え、この物件の売却希望価格が100万円？」と、眺めるだけで想像がふくらみます。リフォームのための助成もありますよ。

また、若い子育て世帯の新しい生活を応援するために栗原市内の宅地分譲地「**住まいる栗原シェアリングタウン**」を特別価格で販売していたりします。

保育所では保育料2人目以降の無料化や、幼稚園では仕事などのためにお子さんが帰宅しても保育がでない場合に、幼稚園で預かり保育や一時預かり保育を行っているっており、お子さんにあづける制度も整っています。



<不動産>

- (株)伊藤不動産 栗原市志波姫沼崎新田 100  
電話：0228-24-9355 ファクス：0228-24-9356
- 柏屋不動産 栗原市高清水中町 2  
電話：0228-58-2525
- 栗駒商会 (株) 栗原市築館薬師 4-2-5  
電話：0228-22-3172 ファクス：0228-23-7067
- 栗っこ農業協同組合資産管理課  
栗原市志波姫沼崎堰畑 140-2  
電話：0228-23-2116 ファクス：0228-23-7082
- (株)クリア平塚 栗原市栗駒中野稲荷前 115-56  
電話：0228-45-1568
- (有)サントウ商事 栗原市築館下宮野町下 27-1  
電話：0228-21-1423 ファクス：0228-21-1424
- 街の小さな不動産屋 栗原市築館字下宮野町浦 123-1  
電話：0228-24-7207 ファクス：0228-24-7215
- (有)東北不動産商事 栗原市築館伊豆 4-1-45  
電話：0228-22-3063 ファクス：0228-22-3089
- (株)まるき 栗原市築館薬師 3-2-26  
電話：0228-22-6181 ファクス：0228-22-6171

<関連情報>

- **栗原市ハザードマップ**  
<http://www.kuriharacity.jp/index.cfm/11.0.91.html>
- **リフォームのための助成**  
<http://www.kurihara-tju.jp/index.cfm/6.html#03>
- **住まいる栗原シェアリングタウン【宅地分譲】** 若い子育て世帯の新しい生活を応援するため、市内の宅地分譲地を特別価格で販売。  
<http://www.kurihara-tju.jp/index.cfm/6.5.12.html>

ステップ⑥

# 移住する。

いよいよ移住です。地域に溶け込むにはまず近隣へのあいさつ。そして地元行事に参加してみるのもいいでしょう。**栗原市のフェイスブックページ**では毎日のように地元の情報が発信されていますので、ぜひこちらをご参考にしてくださいね。



● 栗原市役所 facebook ページ  
<https://www.facebook.com/kuriharacity>

くりはら暮らしをはじめたい！  
というあなたへ。

# 知って得する支援制度。

子ども

子どもの医療費が  
中学生まで無料！

栗原市は子育て世代を応援しています。「すこやか子育て支援金」制度があり、出生祝い金として1・2人目2万円、3人目は5万円を支給します。また、保育所保育料は2人目以降無料。小学1年生から3年生に兄弟がいる世帯で就園している園児の授業料を1人目半額、2人目以降無料です。幼稚園に同時に2人以上就園している場合には、2人目以降の授業料と預かり保育料が無料です。

ここまではどこの自治体にも似た制度がありますが、栗原市の注目はなんと「**中学3年生までは宮城県内の医療機関で受診した場合、医療費の支払いがなんと不要なんです。**」保護者の所得に関係なく、助成を受けることができるのです。  
また、妊活も応援しています。夫婦が行う特定不妊治療の一部を通算5年間で10回まで助成しています。



教育

少人数だからできる  
親身な指導で学力向上。

栗原市立の小学校中学校のすべての学年で、35人以下の学級編成しています。また、中学校の国語、数学、英語の授業では、少人数指導の教育を配置し、きめ細かな指導を行っています。また、宮城教育大学と連携した「**学府くりはら塾**」の開催や、**学び支援コーディネーター**の配置、市内の小学校や中学校の全学年での学力調査の実施などを行い、学力向上に取り組んでいます。



住まい

住宅ローンを  
最大100万円助成！

栗原市では若者世代にとって家計にやさしい、住まいの制度を整えています。例えば**40歳以下の方が住宅を取得した場合、借入金の年末残高5%最大20万円を5年間助成。**

また、住まいる栗原シェアリングタウンと名づけて、市が新たに造成した宅地を格安で分譲販売もしています。空き家バンクの物件もカンタンにホームページで閲覧でき、購入だけでなく、**空き家をリフォームする場合は工事費の50%以内、最大40万円を助成**します。  
賃貸住宅でも**新婚世帯が入居した場合は、月額最大1万円を2年間助成**されるなど至れり尽くせり。移住を少しでも考えた方はお得な方法をご紹介しますので栗原市役所までご連絡を！





## 移住者インタビュー①

### いちご農家 小森俊一さん

脱サラ後、いちご農家に。

小森さんの一日はビニールハウス内での仕事からはじまる。朝4時半に起床して軽トラに乗り、朝食をはさんで9時30分頃まで収穫、手入れしてから朝ご飯を食べ、その後はいちごのバック詰め作業。自宅の横に直売所をつくり、そこで販売している。近隣の方も多く買いにくるそうだ。

「今は完全に農業中心の生活で、作業後はどっと疲れますが、以前のサラリーマンとして働いていたときに比べると精神的に充実していますね」と小森さんは語る。

転職となったのは就職情報誌で農業特集。東北大学生の頃に環境問題を学んだこともあり、興味をもった。



大賛成した奥さんの後押しもあり、愛知県でのサラリーマン生活を辞めて、いちご栽培をする農業法人に就職し、農業の知識と技術を習得した。

山が見える景色で過ごせる贅沢。

中学生と小学生のお子さんがふたり。子育ての環境としては良いロケーションで、特に栗駒山の景色などが近いことを気に入っている。そして田舎のわりに高速道路のインターや新幹線のくりこま高原駅、国道4号などが近く、交通の便が良いことも気に入っているポイントという。

最後の今後やってみみたいことをお聞きすると、長くお客さんに評価されるよう質・量ともに腕を上げ続けたいのだからか。

## 移住者インタビュー②

### 酪農家 野村泰仁さん

登米市からの大移動。

平成26年7月に栗原市築館のJA栗っこ畜産センターで、日頃の飼養管理の成果が競い合われる第9回栗原市畜産共進会が開催され、その乳用牛部門で名誉賞、ベストアダ賞（優れた乳房を持つ牛に与えられる賞）ともに受賞されたのが、花山の野村泰仁さんだ。

野村さんの生まれは登米市。同市の東和町錦織の道路バイパス工事による立ち退きがあり、酪農の仕事が続ける場所を探した。

条件のあう場所が花山にあったため、移住を決めたという。両親と奥さん、お子さんふたり、そして乳牛50頭といっしょに花山へ引越してきた。



同業者の助け合いコミュニティ。

冬の雪の多さに驚いたものの、栗原への移住はおおむね正解だったと語る。「酪農を営むにはすごく最適な場所でした。周辺の方も同じく酪農を営んでいるため、困ったときに助けてくれるし、助けるための酪農技術を持ち合わせた方たちばかりでした。さらに周りの住人の方がとても親切にしてくれるので、環境としては安住の地ですね」と満悦の様子。

近隣の方たち酪農家コミュニティの寄り合いが月に何度かあり、近所づきあいだけでなく、酪農のスキル交換にもなること語ってくれた。



# くりはらの仕事

## 就農フローチャート



START

農業をはじめたい！



CHECK!

市

### 栗原市役所

まったく未経験の方にはこちらの窓口がオススメです。いつでも相談受付にお越し下さい。(相談内容によって部署が異なります)  
電話：0228-122-1125



県

### みやぎ農業振興公社

年齢にあわせて2つの相談会を定期的にご利用しています。39歳未満の方が対象となる**若年就農相談会**は、毎月第2木曜日にみやぎジョブカフェにて開催。40歳以上の方を対象とした**定例就農相談会**は、毎月第3火曜日に宮城県仙台合同庁舎にて開催しています。  
電話：022-1275-1919

県

### 栗原農業改良普及センター

少し農業に携わった経験がある方などはこちらの窓口がオススメです。普及指導員が地域を巡回し、農業者に対して技術や経営改善へ向けた支援を行うなど、農業や農村の活性化に向けた活動を行っています。  
電話：0228-122-19404

農業のイメージを確かめてもらう

平成22年次の国勢調査では、栗原市の農家人口総数は29,440人です。2015年6月末調べの栗原市の総人口は72,087人なので、栗原市の約4割の人は農業に従事していることとなります。このページでは栗原でメジャーな職業である農業をはじめたいと思ったときに、どのようなルートがあるのかご紹介したいと思います。

本気で農業をする方には、「**青年就農給付金**がお得」

農林水産省の事業である**青年就農給付金**は、研修期間中や農業経営の開始初期にある要件を満たすと年間**150万円**が給付されます。本気に農業をする方には、

とあらかじめ断っている理由は、その条件が兼業農家ではダメですよ、という条件になっているからです。逆に言えば**本気で目指している方**で**45歳未満の方**には**絶対**にオススメです。相談は**みやぎ農業振興公社**へ。

農地の取得について

農地を取得できる(買える、借りる)のは**新規就農者と農家**だけです。新規就農の場合は50アール(5000平米)5区以上取得する必要があります(花山地区は10アール)。農地取得についての相談手続きは**農業委員会**へ。  
電話：0228-142-11239

その後のアップ  
ステップで



兼業農家



専業農家



農業法人



**GOAL**

### 勉強から始める人

農業技術や経営ノウハウを習得するために行う研修には宮城県農業大学校が行っているニュー・ファーマーズ・カレッジ(研修期間半年)や、全国新規就農相談センターが行っている**チャレンジ the**

農業体験・研修がある。これらは農業経験がまったくない人を対象に行っているが、宮城県農業大学校には優れた農業経営者や農村地域の指導者の養成を目的とした**2年制のコース**もある。

### まずは就職する人

生計を立てるために、平日は会社員等として働き、早朝や週末を利用して農業をするという生活スタイルもあります。

### 専業農家

農業を行う仲間が多いため、**4Hクラブ(農業青年クラブ)**や**農協青年部**など、若手農家のネットワークがあり、個人事業主であつても、学べる環境が整っています。



### 農業法人

研修ではなく、農業法人に就職して技術を習得することも可能です。**みやぎ農業振興公社**では、農業法人への就職希望者へ無料職業紹介を実施しています。また、**全国新規就農相談センター**では、農業法人への就職のきっかけとするため、農業インターンシップを実施しています。

### 兼業農家

代々農家を営み、現在は別の仕事をしながら、できる範囲で農作物を育てている方が栗原市では多いです。ネット環境を整えて、1丁の仕事しながら時々農業という暮らしも、これからの栗原ではメジャーになるかもしれません。

売り先

自分で売り先を見つける

都心部の料理店など、旬の食材がほしいお店に営業し直接販売する方法があります。また、インターネットを通じた通販に力を入れている方もたくさんいらっしゃいます。

道の駅 e t c .

地域でつくるにぎわいの場である道の駅で、販売するルートがあります。

農協 J A

農協では農畜産物の集荷や販売を行っています。

相談は、お気軽にいらしてくださいね!



## Aさんの場合

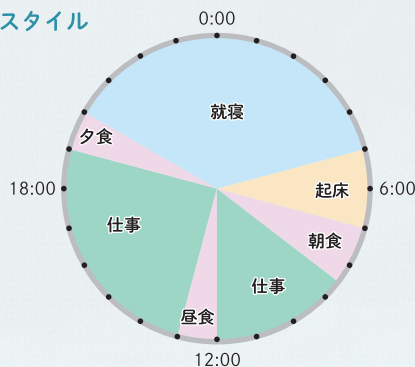
30aの広さの畑で小菊、そのうち3aは輪菊とスプレー菊を扱うAさんは当初、雑種地を開墾して畑にしようと考えていたものの、山土のために強酸性で、親株を植えたところ全滅してしまうという失敗を経験し、借地利用に変えて利用していない畑を探したそうです。幸いに地主さんが知り合いだったこともあり、直接交渉して了解を得ることができたのだとか。



### 概要と特徴

- ①主な作目と栽培面積
  - ・露地畑 (30a)
  - ・小菊 (内3aは、輪菊とスプレー菊)
- ②主な保有施設・機械
  - ・動力噴霧器 (1台)
  - ・管理機 (1台)
- ③労働力
  - 本人・母
  - ※父は、別途野菜部門(ほうれんそう)開始
- ④販売先
  - ・市場出荷 (7割)
  - ・直売所 (3割)

### 生活スタイル



### 年間スケジュール

月	作業
1月	育苗、ほ場準備
2月	
3月	定植
4月	
5月	出荷
6月	
7月	親株伏せ込み
8月	
9月	親株伏せ込み
10月	
11月	親株伏せ込み
12月	

## Bさんの場合

繁殖母牛8頭と子牛4頭など黒毛和牛を父母、そして兼業で働いているお子さんとで飼育育て、りんご16a、水稲3haを栽培するBさん。毎日の牛の世話と水稲の管理の間に、リンゴの作業を行うそう。時期によっては作業が重なることもあって、経験を通じてスケジュール管理のスキルを意識してあげていきたいと言います。

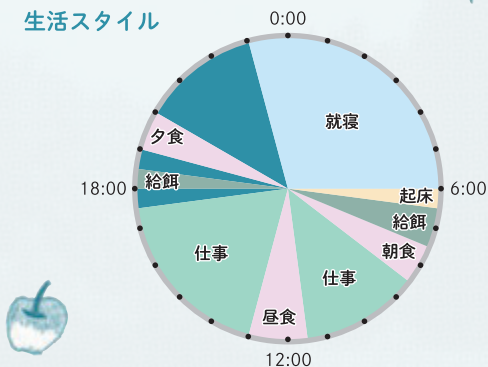


### 概要と特徴

- ①主な作目と栽培面積
  - ・黒毛和牛 (繁殖母牛8頭、子牛4頭)
  - ・水稲 (3ha)
  - ・果樹 (りんご16a)
- ②主な保有施設・機械
  - ・トラクター (3台)・マニースプレッター・ディスクモア・ペーラー・草刈り機・ローダー・ロータリー・ハロー・テッター・軽トラック・田植え機・コンバイン・畜舎・機械倉庫・パイプハウス (3棟)・スピードブレイヤー (組合保有)
- ③労働力
  - 父・母 (専業)、子 (兼業)
- ④販売先
  - ・水稲 J A
  - ・牛 J A
  - ・りんご 自家販売



### 生活スタイル



### 年間スケジュール

月	作業			
	水稲	牛	りんご	
1月		年間を通して、 ・給餌 ・堆肥出し ・堆肥処理 ・出荷 ・発情管理 ・人工授精 ・出産 ・病気対応 など		
2月			剪定	
3月	圃場準備			
4月	種まき			
5月	起耕、肥料散布、代掻き、田植え	飼料作物の播種	年間13回程度の防除	
6月	溝きり		摘果	
7月				
8月		飼料作物の刈り取り		
9月	稲刈り		徒長枝切り	
10月	稲わら収穫		葉摘み	
11月			収穫	
12月			販売	

## Cさんの場合

黒毛和牛と水稲8ha、そして牧草2.5haを扱うCさん曰く、年間のサイクルの中で一番気合が入るのは子牛が生まれる瞬間だとか。昼夜関係なく出産に立ち会い、生命の誕生は疲れを忘れるそうです。牛自体、人間に懐く動物でかわいく、手塩にかけて育てた牛が高額取引されたときの喜びは言葉にできないとか。

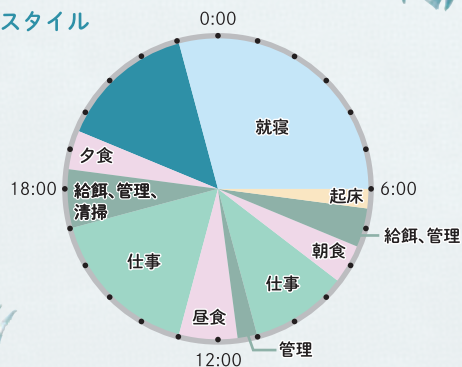


### 概要と特徴

- ①主な作目と栽培面積
  - ・黒毛和牛(肥育25頭、繁殖母牛30頭、子牛20頭)
  - ・水稲(8ha)
  - ・牧草(2.5ha)
- ②主な保有施設・機械
  - ・畜舎(3棟)・堆肥ハウス・わら保管ハウス・育成ハウス(6棟)・トラクター(3台)・ローダー・ロータリー・ハロー・モア・レーキ・ペラー・マニアスプレッター・畜産運搬用トラック・ダンブ・軽トラック・ホイルローダー・田植え機・コンバイン・乾燥糶摺り機材一式
- ③労働力
  - 父(専業)、子(兼業)
- ④販売先
  - ・JA



### 生活スタイル



### 年間スケジュール

月	作業		
	水稲	牛	牧草
1月		年間を通して、 ・給餌 ・堆肥出し ・堆肥処理 ・出荷 ・発情管理 ・人工授精 ・出産 ・病気対応 など	
2月			
3月	圃場準備		
4月	種まき		
5月	起耕、肥料散布、代掻き、田植え		
6月	溝きり	一部放牧	牧草の刈り取り(一番草)
7月			牧草の刈り取り(二番草)
8月	稲ホールクローブサイレージ刈り取り		
9月	稲刈り		
10月	稲わら収穫		
11月			
12月			

## Dさんの場合

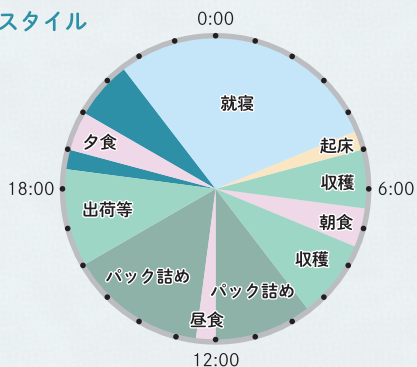
Aさん、Bさん、Cさんが一日の生活スタイルだけ見れば、普通のサラリーマンのような一日ですが、いちごを扱うDさんは3人と生活が3時間ぐらいいちごを昼間に早くに摘み取ったいちごを昼間にすぐに出荷できるようなサイクルをつくるには、起床時間がどうしても前倒しになるようです。



### 概要と特徴

- ①主な作目と栽培面積
  - ・いちご(とちおとめ21a)
- ②主な保有施設・機械
  - ・栽培ハウス(5棟)・育苗ハウス(6棟)・トラクター・管理機・軽トラック・消毒用セット動噴
- ③労働力
  - 本人、妻、シルバー人材センター1名(収穫時のみ)
- ④販売先
  - ・自宅直売所、市内産直所(3カ所)、JA

### 生活スタイル



### 年間スケジュール

月	作業
1月	収穫・出荷 (適時 消毒、苗の管理、作業等)
2月	
3月	
4月	
5月	
6月	施肥、畝作り 仮植
7月	土壌消毒
8月	定植 親株仮植
9月	
10月	
11月	親株定植
12月	11月下旬から収穫・出荷

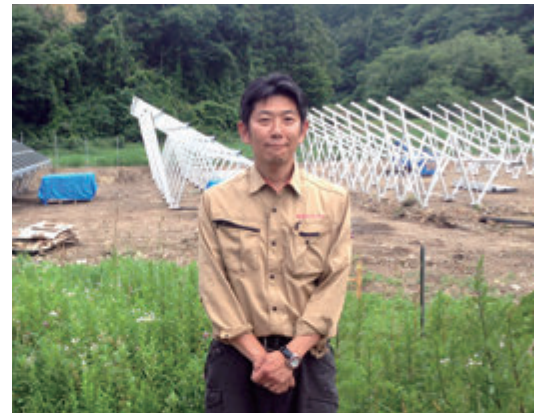
## 移住者インタビュー③

### 太陽光発電所経営 阿部幹司さん

自給自足の暮らしと  
発電事業への取り組み。

仙台市で保育士として働いていた阿部さんは、東日本震災で家が一部損傷したため、山形県最上町に避難。それが縁で栗原市の北部、花山に地域おこし協力隊として赴任した。

「新規就農者が移住しやすい環境を整えるために人的ネットワークや情報収集に取り組んでいました。農地の譲渡や農機具の購入など、移住者を受け入れてやすい環境にしていきたいと思ってまずは自分が移住しました」。協力隊を退職した今も同じ活動を続けつつ、自給自足の暮らしをしながら、現在は太陽光発電事業に着工している。



教育環境の整っている里山。

阿部さんはお子さんが三人いる。「子どもたちは栗原市でたくさんの「初めて」を経験しました。例えば野菜の収穫や餅つき、星空を見ることなど自然体験の中から豊かな感性が生まれてきた」と言います。

また、花山幼稚園・花山小学校にも小規模ながら教職員の熱心な姿勢に共感し、入園入学させたいと思ったのが移住の決め手だったそう。家族が移住（平成24年4月）してきてから地域での交流の輪が広がり、農林業に熟達している地域の方から採れたての野菜などをおすわけてもらうことも多く、逆にそれをアレンジして現代風の料理としておかえししたりの毎日なんだそう。

## 移住者インタビュー④

### 自然学校指導者 自然学校職員 塚原俊也さん

自然環境でアトピーが楽になった。

神奈川県にある中高一貫の私立学校で教師をしていたという塚原さん。身体を動かすのが好きで、自然学校の仕事をたくて2004年に始めて栗駒耕英にやってきた。やりたい仕事のために偶然選んだ栗原だったものの、最初からうれしい驚きの連続だったという。

「お米と水がおいしいですね。持病のアトピー性皮膚炎が改善しました。結婚相手と家族にも恵まれたし、温泉が近いし、雪が面白いですね」。

厳しい雪を味方にする生活。

雪が面白い？とは何なのかお聞きしてみると、栗駒耕英の地域は積雪量が多く、イグルーをつくって楽



しめるそうだ。昨年からの氷のBARもつくっている。お話を聞いていると、そもそもネガティブに考えてしまいがちな雪の多さなどの地域の課題を塚原さんはポジティブに考える癖がついているようだ。

「開拓地の方々の生きる力がすごく、近隣の80代から20代まで幅広い方にお世話になっていきます。みなさんのお話を聞きながら、住民として地域をどのようにするかポジティブに考えられるようにしています。深い自然環境にある地域だからこそ暮らしを創っていくというやりがいがありますね」。

## 移住者インタビュー⑤

### そば屋兼農家 伊藤廣司さん

サラリーマンからそば屋の主へ。

花山に移住して、山菜・きのこの直売所、そば屋「ざらぼう」を始めた伊藤さん。旧花山村へは、仙台市に住んでいた頃に何度か仕事で訪れていた。「法会関係の出版社に勤めていたので、役場に来ることが多かったんです」。何度か訪れているうちに、セカンドライフは田舎で暮らそうと、移住する10年も前から考えていたという。農業にも関心があった。そして2004年に移住し、米づくりに挑戦した。「たまたま農地法の構造特区を申請するからと言われ、許可されて断れなくなっただけです(笑)」。

地域の住民としては、若者？

現在は築50年という農家の物置



小屋の古材を譲り受け、梁と柱はほぼそのままに、新しい材料を組み合わせたこだわりの家で、妻のイクヨさん、娘さんといっしょに暮らしている。新材は無垢材、壁は漆喰、塗料・断熱材にいたるまで自然素材を使用し、身体と環境にやさしい家となった。土日祝日はこちらで手打ちそばを食べることができ、40食限定だ。



地域の住民となつてから、伊藤さんはいろいろな地域の役職についている。「67歳なのですが、この地域では若いほうの部類なんですよ(笑)」。のんびりしたいんですが、忙しすぎて、と笑う。

移住前に知っておきたかった知識や手続きについては  
ご本人のホームページに詳しく紹介されているのでこちらも参考してほしい。  
田舎暮らしのための手続きあれこれ <http://www17.plala.or.jp/zarabo/>

## 移住者インタビュー⑥

### 陶芸家 工藤修二さん

自宅に窯がある生活。

花山で焼締めの陶器を製作している工藤さんは座主窯という屋号で活躍する陶芸家だ。奥さんとそのお母さん、そして猫5匹といっしょに自宅兼工房で暮らしている。「自分の窯を持つため25年前に移住してきました。修業時代からよく、温泉や溪流釣りのために旧花山村に足を運んでいたんです。だからずっとこの花山で開窯したいと思っていました」。

工藤家の敷地内には展示販売をしているギャラリースペースがあり、隣には制作できる大きな窯がある。工藤さんの器を扱う飲食店は市内各所にあり、道の駅でも器が販売されている。



大事なものは、よき隣人になること。

移住した際はまったく知り合いがいなかったが、近隣の住人が興味を持ってくれて窯焚きの手伝いに来てくれたりしたそうだ。移住者の方にはよき隣人になることを心がければすぐに地域に馴染めるとアドバイスだけだ。

「近隣の方との関係はずっと続いていて、野菜とかよくいただきますね。遠方の方も尋ねてきやすいように、将来は陶器販売

のギャラリースペースにお茶を飲めるカフェをつくれたらと思っています」と語ってくれた。



## 移住者インタビュー⑦

# 栗原市 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする総務省の制度です。



左から 中川 理絵さん（宮城県仙台市出身。移住前は研究室助手）  
桑原 里さん（埼玉県出身。移住前から東北大学大学院生）  
長尾 隼さん（島根県出身。移住前は嘱託の研究員）

栗原市地域おこし協力隊の3人に聞きました。

栗原市は「平成20年岩手・宮城内陸地震」や「東日本大震災」といった2度にわたる大震災によって甚大な被害に見舞われました。この震災の記憶と経験を風化させずに後世に伝えるために、栗駒山麓で生じた地質滑りや多くの大崩落地を新しい地質遺産ととらえて、豊かな自然環境や農村文化のすべてをジオパークとして学術研究、防災教育、さらには観光に活用しようと進めています。栗原地域おこし協力隊は、その栗駒山麓ジオパーク構想を市内外に発信する役目です。今回はそのメンバーとして活躍する3人に移住体験をお聞きしました。

「移住する前に不安だったことはなんですか。」

長尾さん「島根県から来たのですが、冬の寒さが心配でした。ちょっと驚いたのはプロパンガスの料金体系ですね」

中川さん「あ、私も仙台市にいた頃は都市ガスだったので驚きました。移住定住サイト「来てみらいん！くらしたい栗原へ」は物件の検索に利用しましたよ」

「移住してみたら驚いたことはありますか。」

桑原さん「言葉が聞き取れなかったことかな……」

中川さん「確かに。でも方言を覚える

のは楽しいです」

桑原さん「スーパーマーケットの閉店時間が早いことも驚きですね」

中川さん「タヌキやキツネが急に道路に飛び出してくることも！」

「栗原市の印象はどうですか。」

長尾さん「これまでお会いした方はみなさん優しく接してくださいってうれしいです」

桑原さん「うんうん。一度顔見知りになれば世話を焼いてくれますね」

「最後に栗原市への移住を考えている方へのメッセージ」

長尾さん「ご飯がおいしく暮らしやすいですよ。不安なことがあれば何でも相談してください」

中川さん「私は栗原で何がしたいのかが明確だったので、仕事を通じて方々と知り合う機会が多く、自分の居場所があるという安心感もあるので、飛び込んだ地域で楽しく暮らすことができています。移住をして終わりではなく、地域のコミュニティに入り、地域の方々と関係を築いていくことは、田舎で暮らしていく上で、すごく重要だと思いますよ。」

## こぼれ 移住者インタビュー⑧

移住の理由は何？

●畑を耕したり、森歩きをしたり、大自然に学ぶ時間をもつ生活が良かったから。春夏秋冬の移り変わりを心から楽しんでいます。（60代）

●夏秋いちご栽培地として環境条件が合うことです。また、被災時の人々との交流で得た得難い経験と協力関係に心が動きました。（60代）

移住してみたら驚いたことは？

●お茶っこ（ご近所づきあい）が必須！（40代）

●日本家屋の冬の寒さと夜空に見える多くの星です。（30代）

移住してみたら良かったことは？

●コンクリートに囲まれない生活！（40代）

●栗駒山に近いこと。近所に仲良しができたこと。（40代）

お気に入りの場所

●牛淵公園（お花見やパーベキュー、いも煮会など自然の中でレジャーを楽しめる溪流沿いの公園）（40代）





### 「くりでん」

惜しまれながら2007年に廃線となった、くりはら田園鉄道(通称くりでん)が再ブレイクを果たしています。週末となればファミリー客を中心に、多くの方が若柳駅跡に詰めかけています。キッズのお目当てはレールバイク。「片道900メートルの区間、レールの上を自転車感覚で走れます」と語ってくれたのはくりでんOBの鎌田さん。42年間、くりでんとともに歩んできた方だ。鎌田さんのようなOBや鉄道好きの方たちが協力して、毎回趣向をこらしたイベントを開催しているのだから。詳しくは市役所のホームページをチェック!



開催場所: 旧くりはら田園鉄道 若柳駅  
栗原市若柳字川北塚ノ根 17-24  
問合せ: 栗原市役所企画部企画課  
電話: 0228-22-1125



# 子連れで楽しめる! ちかごろの栗原の流行を 教えます。



わーい!!

### 「観光坑道 細倉マイパーク」

細倉マイパークは、栗原市鶯沢の大自然に囲まれたテーマパークです。細倉鉱山1200年の歴史を体感でき、本物の坑道内に入ることが出来ます。冷暖房機器を使わなくても年中温度が16度ぐらいに保たれており、夏は涼しく冬は暖かく感じます。体験コーナーでは、迫力ある発破体験や砂金採り体験でお宝探しができます。

### 「光源クリハラライザー」

栗原市のご当地ヒーロー。栗原市在住の農業青年クリハラ・シンなど光源神の力を得た戦士たちが、悪の組織アグダレ団から市民を守ってくれているそう。市内を中心に活動し、最近では市外での公演やヒーローショーのアドバイスなど、活動領域が広がっている。



※10月上旬から約半年程度、一部リニューアル工事に入りますので、営業時間等を確認してからご来場願います。

観光坑道 細倉マイパーク  
栗原市鶯沢南郷柳沢 2-3  
電話: 0228-55-3215

おたよりはこちら!  
<http://kurihariser.p2.weblife.me/>

栗原市の魅力を全国にプロモーションしていただくために栗原ドリームアンバサダーを委嘱しています。その中からこちらのおふたりに、移住を考えている方に向けてメッセージをいただきました。

# ドリームアンバサダー

## Dream Ambassador

### GINZA Kansei シェフ

さかた みきやす  
**坂田 幹靖**

1955年生まれ、栗原市出身。渡仏し、フランス料理を学んだ後、銀座レザンドールにて料理長を務める。1990年より Kansei をオープン。農林水産省料理人顕彰制度 料理マスターズ。シュパリエ・デュ・タストフロマージュ（フランスチーズ鑑評騎士）。



### お笑い芸人

かの えいこう  
**狩野 英孝**

1982年生まれ、栗原市出身。2003年にお笑いタレントとしてデビュー。長髪に全身白のスーツ、胸には赤いバラを差したホスト風ルックスで「イケメンぶり」を執拗にアピールしてくるキャラで大ブレイク。実家は栗原市の櫻田山神社。



おいしいご飯と綺麗な景色が自慢です。

芸人という職業をしていると仕事で、全国いろいろな場所へ行きます。そこで、おいしい食べ物や、絶景を堪能しもちろん感動するのですが、僕はやっぱり栗原市が大好きです。もちろん地元ということもありますが、食べ物や景色の良さも自信を持って人に紹介できます。

また、仕事で栗原市に訪れたタレントさんからも「素晴らしいところだった！また行ってみたい！」と言っていたこともあり、その時は自分が褒められたかのようにうれしく感じています。

栗原市を離れ夢を追って東京に上京

したけれど、芸界という高い壁を知り心が折れそうになったときは、いつも新幹線で栗原市に帰り、おいしいご飯を食べ、綺麗な景色を眺め、仲間たちに会い、自分はこんな素晴らしいところに産まれて育ったんだと感じ「東京なんかには負けるか！」

と、栗原市は僕に力を与えてくれました。僕は栗原市民じゃなかったら芸界で生きていけなかったんだろかなあと、故郷に感謝しています。

ています。



櫻田山神社



狩野英孝氏  
当時9歳

栗原市は本当に素敵な場所。そして、みんな本当に優しく、あたたかい人たちが住んでいます。ぜひ、同じ栗原市民という、仲間になっただけならうれしく思います。

栗駒山の雪解け水のおかげでおいしいお米が穫れます。

お店をはじめから26年経ちます。忙しいけど楽しいですね。国産食材の普及を心がけて、料理をつくっています。栗原市の野菜といえば、パプリカの生産は栗原市が日本一なんです。夏はきゅうりとか、あと枝豆がおいしいですね。枝豆は独特の香りがあると思います。トマトやいちごもとてもいいものがあります。いちごはべたつきした甘さでなく、甘じょっぱいような、キレのいい、いちごがあるんです。

栗原市は栗駒山のふもとにあつて、冷たい雪解け水が流れてきます。その水のおかげでおいしい米が穫れます。もち文化も発達していて、食べ方も種

類豊富です。もち米用のうるち米も栗原のものとてもおいしいですね。好きな時期は、夏の終わりです。8月末の市民祭りに料理をしに行くことが多いのですが、伊豆沼の蓮や、栗駒山の夏山を見たり、花山の温泉と周辺のそば街道で食べるお蕎麦も好きです。でも冬の渡り鳥もいいですね。僕は料理人なので鳥を見ても「ああ、おいしそうだな」と思ってしまうんですが(笑)。

これから移住して農業を始める方へ伝えたいのは、最初はまわりの方に教わりながら、ゆくゆくは独自のものを生み出してほしいですね。先

人の知恵を借り、データベースを活用し、地域の人と友だちになっというろと教わりながら、手探りで新しいものをつくりあげていくことだと思います。

いつでも、おもしろい野菜があれば使ってみたいなと考えています。僕ももうすぐ60歳になりますが、新しいことを特に和の食材にこだわったことを始めたいと思って、勉強と準備をしている最中です。



GINZA kansei

東京都中央区銀座 5-6-13  
電話：03-3573-5721



## 編集後記

市章のデザインは、栗原市の頭文字、ひらがなの「くり」をモチーフにしたもの。緑色は、自然たっぷりの田園都市をイメージし、中央の形は栗原の象徴「栗駒山」と、米どころの作物「お米」を合わせて表現されています。

今回の取材を通じてこの市章のカタチが、家と居久根（いぐね）の関係にも似ている気がしてきました。居久根とは、宮城県を中心にした地域の、屋敷林の呼び方です。

「居」＝家、「久根」＝地境であり屋敷境の意味があります。

屋敷の北西側に配置されスギ、ケヤキ、ハンノキ、クロマツの四種の高木が居久根の骨格であり、これらは高さ20m以上に達します。

くりはらツリーズネットワークの大場寿樹さんが「山をもたない人のための、ちいさな山」と表現されていたのが印象的でした。居久根のように、パッと見ただけではわからないような先人から伝えられた生活の知恵が、栗原にはいっぱいあります。

ぜひよく目をこらして栗原の魅力を探してみてくださいね。



2015年9月

発行／宮城県栗原市

〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号

電話：0228-22-1125

モデル ペナルティ ワッキー

佐藤あかり（栗原市在住）

プロデュース 前原まさみ（株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー）

デザイン・イラスト オガワユミエ

撮影 ロン・セレスティン、弘西昭宏（CONTROLless LLC）

編集・執筆 狩野哲也（狩野哲也事務所）

本書のテキスト、写真などを無断で複写、転用することを禁じます。

本書情報は2015年8月末現在のものです。



来てみらいん！くらしたい栗原へ

栗原市移住定住サイト

<http://www.kurihara-tju.jp>

【お問い合わせ】

宮城県栗原市企画部企画課 成長戦略室  
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号  
TEL：0228-22-1125 FAX：0228-22-0313  
E-Mail：teijyusokushin@kuriharacity.jp